



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



望^み星^{ほし}なつきの 性の目づめ

長期に渡った仕事が一段落つき



兼ねてより予定していた家族旅行に行けることになった

迷わず辿り付けるだろうか
少し田舎道を歩くようだ

圏外…

男の子かな…

ふー

えーっと
白羽根亭って旅館知ってる？
僕？

いっ

行っちゃった…

ガーン

たたたた…

なんだか不安になってきたな…

そこで遊んでる子に聞いてみよう

妻と別れてから
もう随分と経つ

それから
今に至るまで
男手一つで

六人の息子達を
育ててきた

大変では
あったが

充実した
毎日だった

温泉旅館
『白羽根亭』
しらはなてい

温泉街の
高台に位置し

自然の織り成す
眺めの良い
立地が魅力だ

白羽根亭

こあいとろ

なんでも
オーナーが
旅館経営の傍ら

身寄りのない子を
引き取って

面倒を見て
いるらしい

そんな
オーナーの
博愛精神に
感銘を受け

今回
ここのお世話に
なることに
したのだった



老舗の旅館と
いうだけあって

この露天風呂は
広々と開放的で
リピーターも
多いらしく

とても楽しみに
していた



おや？
先客が
いるようだ

さっきの
男の子かな

我々一家の
貸し切りとまでは
行かなかったか



お前ら

ちゃんと
体洗ってから
入れよー



たーたー

おじさん

さつき
声かけてきた
人だよ

ん？
そうだけど

やっぱり
あの子か

…って
あれ？

よく
見たら…

可愛らしい
ツルツルの
ロリマンコ…♡

男の子だと
思ってたけど

女の子
だったのか

いいの？
ここ男湯だけど

？

お風呂は
いつも先生と
あとのみんなと
一緒だよっ

みんなで入ると
楽しいんだ♡

先生？
あ…この
オーナ…の
ことか

女の子は
質問の意図が
よく理解できて
いないようだ

この子の中では
男の子も女の子も
大人の人も

一緒に
お風呂に入るのが
当たり前なんだな

先生いつも
忙しいから

今日は
お手伝いして
あげるんだ

そうなんだ
えらいね…♡





途中
へたり込みながら

大人の背中へ
のしかかるように

びたりと
身を預ける



疲れたあゝ♡

はあ

はあ

ちよつと
お休み…



しかし
一箇所だけ

ふくらみ

ふくらりと
膨らんでいる
部分が
背中ごしに
わかる



まだ
膨らんでいない
子供の胸が
背中に
当たる

つるつるとした
平坦な胸板

ぬち



そうしている間
当然のように

息子達の
視線は

この
幼い肢体に

釘付けに
なっている

女の子を
取り囲む空気が

次第に
熱を帯びていく



力を入れるたびに
無自覚に脚が開き

薄い尻肉の
隙間から

生のオマンコと
女の子の尻穴が
顔を覗かせる

普段なら
見ることも
無いような

女の子の
可愛らしい穴



それらが今なら
いくらでも生で
楽しめるのだ

無理も
ないだろう



その
健気ながらも
無自覚に性を
ひけらかす姿を
前に

息子達も
欲望を

抑えきれなく
なっていく

ありがとう
上手だったよ

やさしい顔で
女の子の頭を
撫でる

しかし
そんな無自覚な
女の子の性を

わーい
直で感じた
今となつては

大きく隆起した
チンポが

やさしさとはまるで
正反対の姿を
晒している

それじゃ
今度は

おじさん達が
洗ってあげる
番だね

そうして
俺の発言を
皮切りに

先走りをして
滴らせていた
息子達も
それまで
少女の体を
見ながら
一緒に

女の子の
あらゆる部分

体の
隅から隅

敏感な部分が

念入りに
洗われていく

それじゃ次は
お股も洗おうね♡

はい♡

まだ
恥じらいを知らない
女の子の大開脚！

体が柔らかいのを
アピールする
かのように

はーか♡

得意気に
真一文字に開かれ

女の子の
全てが

ひゅ ちっ♡ キュッ

明るみに
晒される

女の子は初めは
不思議そうな顔を
していたものの

初めて
味わうであろう
快楽の虜に
なるまで

時間はそれほど
掛からなかった





そういえば
お名前まだ
聞いてなかったね

おじさん達に
自己紹介して
くれるかな

な……
名前え……?

み……
みほし……
望星……

な……つぎ……

じゅ……
10歳……

うおッ……
おッ……

しょッ……
小学うッ……

5年生
れ……すッ……



ツルツルの
スジマンコを
ほじくり回され
ながら

幼い
体つきに

より説得力を
持たせる
受け答え



そのあまりに
背徳的な光景を
前に

男達は皆

今にも
爆ぜそうな
ほどに

勃起したら
チンポから

おおお……
小学生……

それもまだ
10歳……

先走りを

どくどくと
滴らせ

上ずった声で
色めきたつ

俺は
粘ついた唾液を
舌に絡ませ
なつきちゃんの
小さな舌に

ねちっこく
絡ませる

初めてのキスにも
関わらず

なつきちゃんは
されるがままに
舌を絡め

本能に身を任せ
積極的に
唾液を吸る

なつきちゃんの
息が荒い
四肢のヒクつきも
激しくなってきた

小さなお尻を
一生懸命
突き出して

この快樂の
先にある
知らない何かを
欲している

そうして俺は
頃合を見て

やさしい
手つきで

内側の一番
張っている部分
を確認した後

ちようどその
クリの裏側に
あたる場所
そこを

指で強く
押し上げる

その瞬間

なつきちゃん
小さな体を精一杯
跳ね上げさせ

小便を
撒き散らした

混乱と歓喜の
入り混じった

悲鳴のような
子どもの声

まだ10歳の
なつきちゃんに
としては

これが初めての
アクメだろう

俺は
この幼い性を
完全に開花
させるため

アクメした
ばかりの
小学生の
オマンコ

一気に
チンポを
挿入する

その最奥へ

急激に締まる
10歳児の膣内

目ざめを告げる
少女の嬌声

少女は再度
アクメに至り

狭い膣内で
俺のチンポが
一気に爆ぜる

一回…
二回…
未発達な
子宮を目がけ

立て続けに
射精する

それでも
なお

腰を
弓のように
引き絞り

また
小さな穴へ

三回…
四回…

射精してはまた
腰を打ち付ける

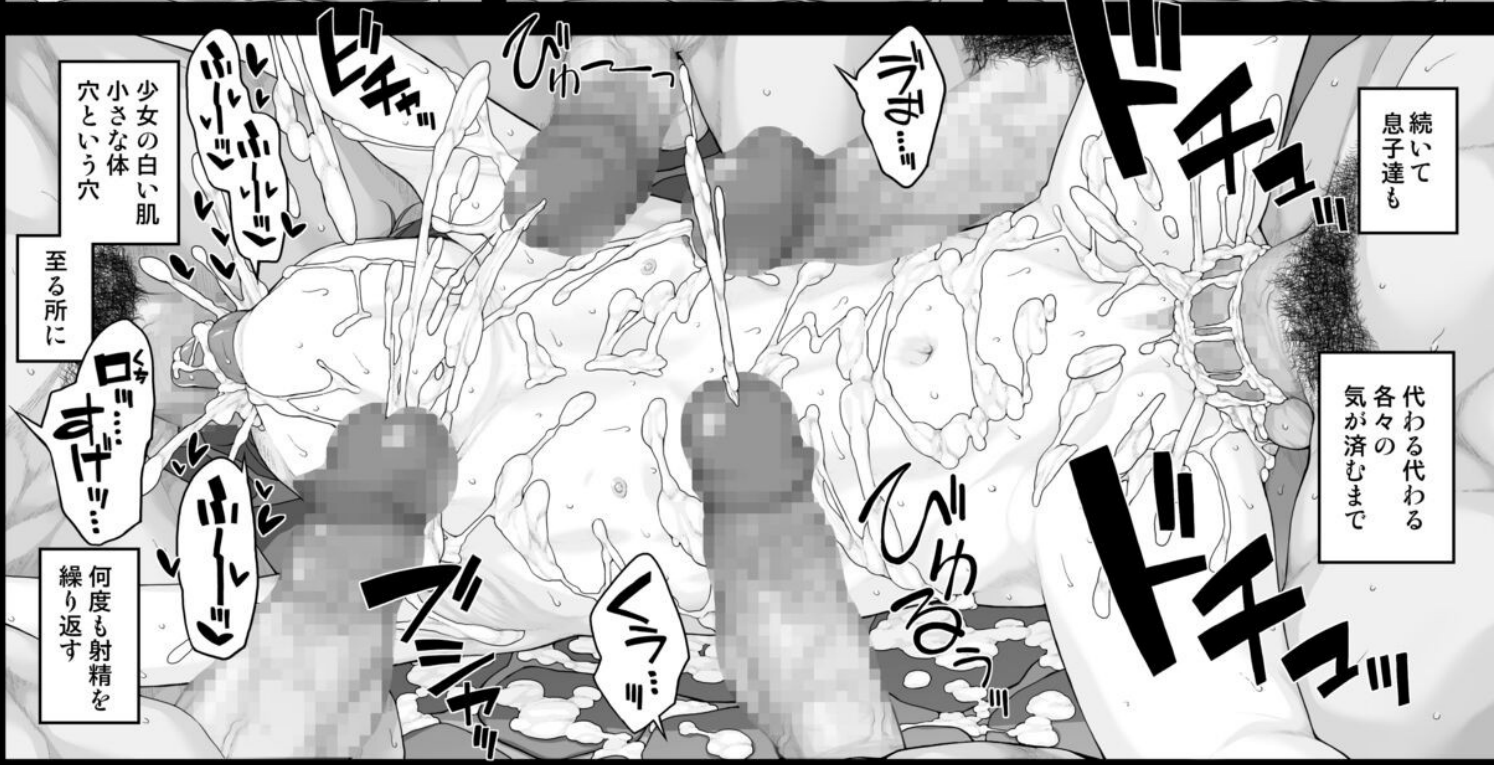


続いて
息子達も

代わる代わる
各々の
気が済むまで

少女の白い肌
小さな体
穴という穴
至る所に

何度
も射精を
繰り返す



こうして
目ざめつつ
あつた
幼い性は

終わりのない
連続アクメ

おた
夥しい
回数の
性交尾を
重ね

完全に
開花した





まるで男という遊具で遊ぶかのように

なまき「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

まだ「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

無邪気で幼い姿に感心しながら

引き続き

なまき「うーっ、うーっ」

この小学生の穴という

「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

「うーっ、うーっ」

現役小学生「うーっ、うーっ」

挿入を繰り返す

男達が視姦している中で

小便を撒き散らすのもお手の物だ

そうして
果てたばかりの
小学生の
オマンコを

改めて
観察する

アクメしたての
10歳児の
オマンコ...

相変わらず
びっちりと
閉じてはいるが

軽く指を
添えてやると
緩んで開く

勃起してる...
子供の...
オマンコ...

男達の
視線を受けて
チクチャク...

ニ...

ぽ...

小学生の...
オマンコ...
オ...

れ見ろ...

今にもまた
喜びの小便を
まき散らしそうだ

隙間から覗く
小さな尿道口は

男達の
視線を受けて

わんばくな
尿道口が
良く見えるよう

小さな膣を
開いてやると

幼い体が
ふるりと震え

なつきちゃん
は大きく勃起した
クリトリスを

可愛らしく
ヒクつかせて
みせた

ニ...

そんな
可愛い
オマンコを
観察しながら

尻穴を
使っていると

ニ...

ニ...

また
もらって...

おあずけに
された
オマンコが

チンポを
欲しがり
小便を吹いた

なつきちゃん
はすっかり
男への媚び方を
学んだようだ

小さな穴が
拡がっていない
時が無いほど

子どもと
大人の…本気の
生セックス…

なつき
ちゃん…
イェイ…

次から次へと
口…オマンコ…
ケツ穴…

射^だ精してはまた
別のチンポが

イェイ…
なつき
ちゃん…

ハニニ学生
ヒロナギ…

代わる代わる
少女を犯す

すげ…

抜けてはまた
何度も何度も

そうして
度重なるアクメで

ぎ—…

意識を
失いつつある
なつきちゃん

それでも
幼い体は
アクメを
求め

男達の前で

小ぶりなお尻を
ヘコヘコと
振り続ける

すげ…

ガチの
オナニー
きた…

イェイ
イェイ

ワウ
ワウ
ワウ

子どもの
甲高い声で

発情した
獣のように
盛り狂う

生チンポを使った
10歳の少女の
オナニーショー…

小学5年生の
本気のオナニーに
男達は色めき立つ

10歳児の
ガチオナ



そして
元気だった
なつきちゃんも
ついには

時折射精に
反応し

うめき声を
漏らすのみに
なった

すっかり快楽に
堕ちきって
しまった姿が

健気で
可愛らしい



それでも
体だけは反応し

小さな
膣穴で
必死にチンポを
チュウチュウ
吸って

また
アノオ
なつき
ちゃん...

10歳児の
マンコで
イク...

小学生の
フエで
イク...

アクメを
欲しがっている



そうして最後
小さな体が
大きく持ち上がる
ほど強く

幼い子宮ごと
力任せに
膣を突き上げ
完全に意識を
飛ばしてやる

なつき
ちゃん...

なつき
ちゃん...
またイク...

イク...
なつき
ちゃん...

この日最大の
アクメの
到来を予感し

小学5年生の
幼い顔が

淫猥な笑みを
浮かべて
ニヤつきだす

そして—

10歳の少女のものととは思えないようなだらしなく緩みきった笑顔と共に

今日一番のアクメに酔いしれながら

トロけるような
快楽の夢の中へと

大喜びで
沈んでいった

そして
意識を失い

ただただ小便を
垂れ流すだけの
オマニコに

仕上げの
大量射精

精液の熱を
肌で受けた
なつきちゃん

完全に気を
失ってもなお

更に勢いを増す
喜びの放尿で
反応を示し

最後まで
男達を
楽しませた

数日後ー

俺は
なつきちゃんを
養子として
引き取り

家族として
迎え入れていたー

あの旅がくれた
出会いで

家族の毎日は
充実している

あ♡いく
いくいくッ♡

パパあつ♡
見てえっ♡

また♡
またいくううッ♡

うお……♡
マンコ……♡

妹の小学生
スジマンコ……♡

いく……♡
いくいく……♡

10歳の女の子の
生マンコで
いくッ……♡

んおオ……♡
パパあ……♡

パパの
チンポお……♡

あの少女は
俺のことを
パパと呼び

歳の離れた
兄達に可愛がられ

もう何度となく
愛を育んでいる

さて明日は
娘で何をして
遊ぼうかな

望^み星^{ほし}なつきの
性の目ざめ

あとがき

こんにちは、白田太です。

…ということで新刊のお届けです。
大変お待たせしました。

今回は流行りに乗って珍しくオリジナルの本です。
それでいてこれまでのデレマスの本の流れを
汲むような、自分の『性癖に刺さる』シナリオのものを
描かせて頂きました。
これまでのデレマスの本を買っていただいた方、そして
今回初めて自分の本を勝って頂いた方の『性癖に刺さる』
ような本であつたら嬉しいです。

次の本の予定はデレマスの雪美ちゃん、もしくは
今回の本の冒頭で一瞬登場した女の子の内の誰かに
しようかなと思ってます。

それではまた次回の本でお会いしましょう。

X(旧 twitter)のほうはアカウントの維持が安定せず
今は Misskey をメインに活動報告を発信しています。
X(旧 twitter)のアカウントもありますが、
そちらをフォローしたい場合は私のペンネームを
直に検索してフォローしてください。
(奥付にアドレス載せても大体消えちゃうんですね…)

誌名：望星なつきの性の目ざめ
発行日：2024/08/24

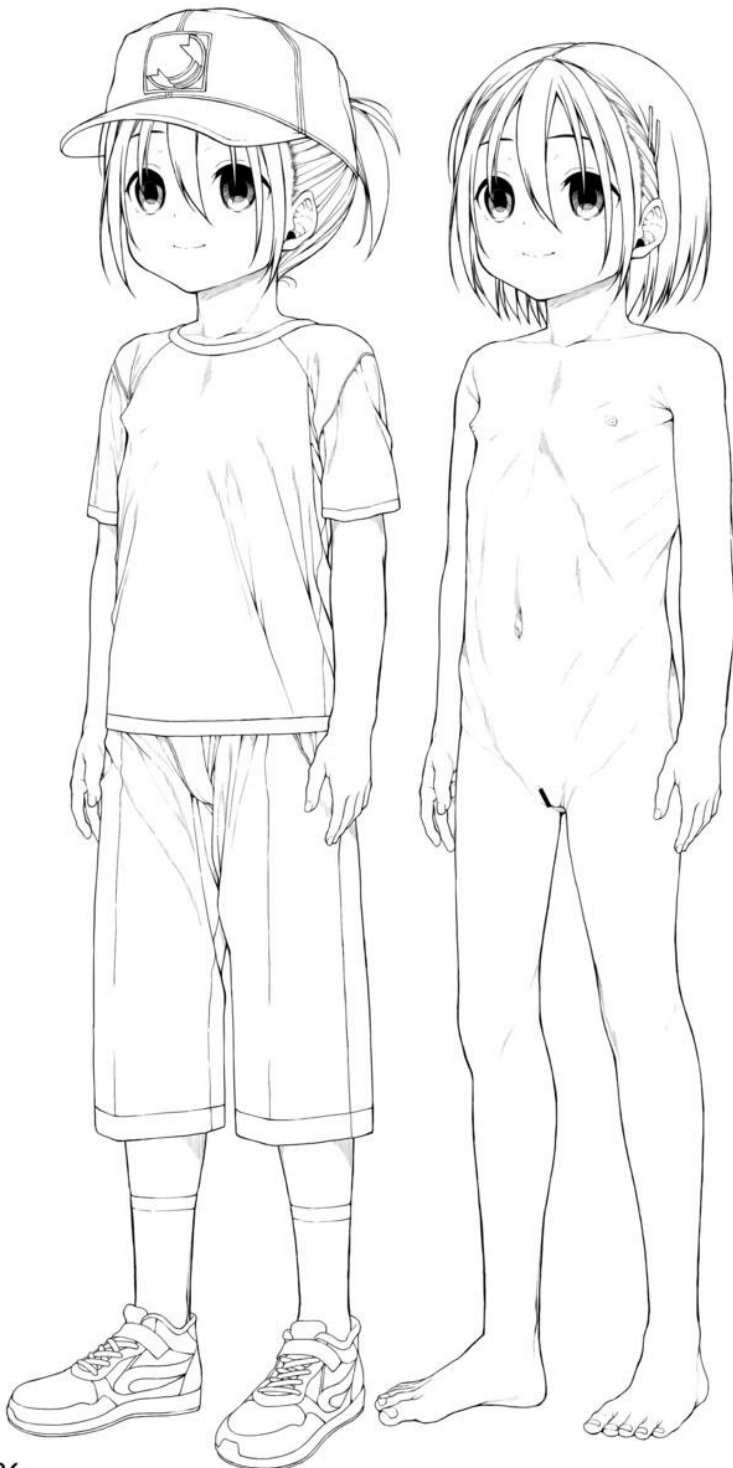
著者：白田太
mail:sirodai@hkg.odn.ne.jp
Misskey.io:https://misskey.io/@shirotdai

印刷：ねこのしっぽ様

※ 18歳未満の方の購入及び閲覧、無断転載
アップロード、AI学習などを禁じます。

おまけ

キャラデザ
てきなやつ



望^み星^{ほし}なつきの
性^の目^めづめ

waterwheel

